

『Mind Charging』

第 161 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 11 月 25 日

「漫画：クレヨンしんちゃん 野原しんのすけ」の名言



自分を犠牲にしても他人を助けるのが 人間の愛なんですよ？

正智深谷高校がある埼玉県が舞台となっているこの作品の名言を紹介するのがここまで遅くなってしまったことをお詫びさせていただきます。みなさんご存知『クレヨンしんちゃん』の主人公“野原しんのすけ”のキャラクターからは取って置けないような言葉を今回は紹介させていただきます。

普段はおふざけばかりのしんちゃんですが、教わったことを守ろうとして出た言葉ということで、本当に『子供の純粋さ』を感じる言葉です。人間の愛について本気で考えるようになるのは、ある程度大人になってからだと思いますが、大人になってからそれを子供に負けないうくらい純粋に捉え、考えて動くことができるかと問われると…。難しい部分があるような気がします。しかし、難しいからと言って避けては何も始まりません。そして、これは人間として非常に重要なことであり、しっかりと向き合ってみる必要があると思います。

とかく、自分の日々の生活で精一杯に感じるから、なかなか自分を犠牲にしてまでという思考になる前に、そこまでしてた据えてあげないといけない状況まで追い込まれた仲間に気づいてあげられるかということも不安があります。そして、『みんなも頑張ってるから…』と、本当はかなりつらい状態なのにもかかわらず無理して明るく振舞ってしまうことによって伝わりにくくなることも少なくありません。『ストレス社会』と言われる現代において、本当に自分がピンチだと感じた時は『人に甘える』ということも準備しておく必要があります。そして、言葉だけではなく『困った時はお互い様』という“空気感”を正智深谷の中にキープしておきたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

『クレヨンしんちゃん』(Crayon Shin-chan)は、臼井儀人(らくだ社)の日本の漫画作品。1990年に双葉社『漫画アクション』で連載を開始し、2000年に『まんがタウン』へ移籍。『臼井儀人 & UY スタジオ』名義で2010年から連載された『新クレヨンしんちゃん』も記載する。略称は「しんちゃん」「クレしん」。コミックスの累計発行部数は、2015年12月時点で5800万部を突破している。マイペースな5歳の幼稚園児の主人公野原しんのすけに、両親をはじめ周囲の大人たちが、主人公の巻き起こす騒動に振り回される日常を描いたギャグ漫画作品である。(Wikipedia 参照)